

(3)三重県建設産業活性化プラン

～次期活性化プランの策定について～



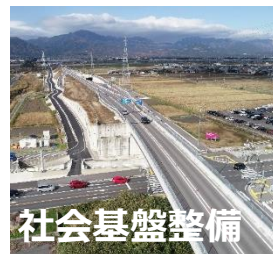
- 1. 建設業の役割・現状**
- 2. 第三次活性化プランの取組目標の達成状況・検証**
- 3. 次期三重県建設産業活性化プランの検討方針**



1. 建設業の役割・現状

建設業の役割

- 地域の建設業は「地域の守り手」として県民の安全・安心や雇用の確保など重要な役割を担っている。



社会基盤整備



災害復旧

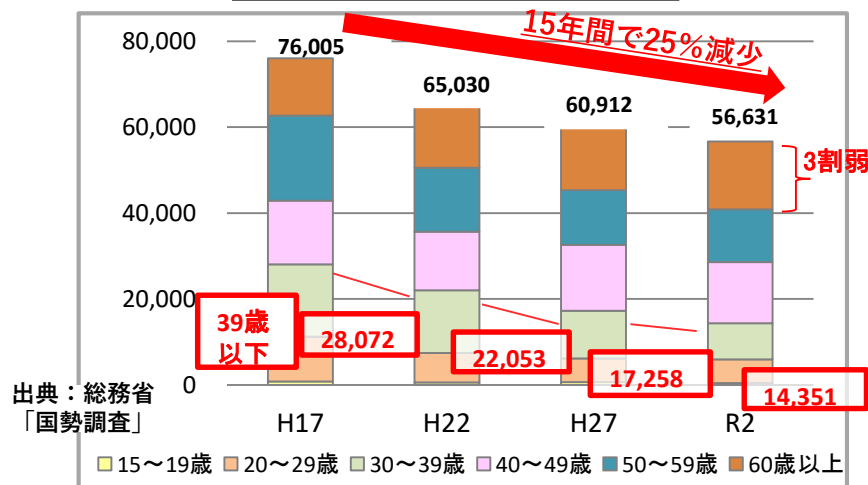


除雪対応

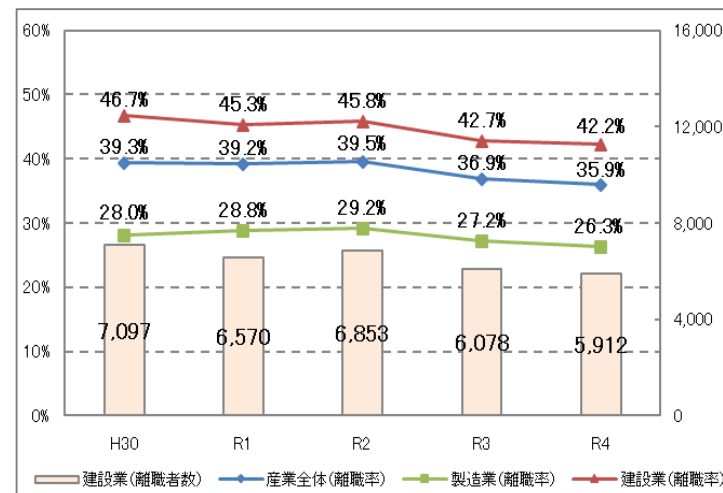
建設業の現状

- 県内の建設業就業者数は、この15年で25%減少（就業者人口の減少）
- 60歳以上の建設従事者は全体の3割弱を占めており、10年後にはその大半が引退することが見込まれる。（高齢化の進行）
- 建設業の高卒就業者（全国）は、その約4割が3年後に離職している。（高い離職率）

県内の建設業就業者数の推移



建設業の新規高校卒就業者の3年目までの離職状況



第三次三重県建設産業活性化プランの取組

将来ビジョン

「技術力を持ち地域に貢献できる建設業」
～確かな技術で地域に必要とされ未来に存続する～

計画年度

令和2年度～令和5年度

取組方向

建設業の活性化のためには、将来にわたり地域の建設業の担い手を確保していくことが重要な課題ととらえ、働き方改革の視点をふまえて、次の**5つの取組**を進める

・【取組1】 担い手確保や労働環境改善の取組

⇒ (目標項目)

週休二日制工事(4週8休)達成率

(4週8休を達成した工事件数 / 月二回土日完全週休二日制工事件数)

⇒ (取組施策)

週休二日制工事の拡大、建設業の魅力発信の支援など

・【取組2】 生産性向上への取組

⇒ (目標項目)

公共事業の平準化率

(年度の4～6月期の平均稼働金額 / 年度の平均稼働金額)

⇒ (取組施策)

施工時期の平準化、ICT活用工事の推進など

・【取組3】 技術の継承や新技術の活用に向けた取組

⇒ (目標項目)

若手技術者の登用率

(若手技術者配置工事件数 / 県発注工事件数(土木一式))

⇒ (取組施策)

CCUS(建設キャリアアップシステム)の活用など

・【取組4】 地域維持や災害対応への体制強化の取組

⇒ (目標項目)

地域維持型共同企業体の施工率

(地域維持型業務委託の契約額 / 全維持修繕契約額)

⇒ (取組施策)

地域維持型業務委託の改善など

・【取組5】 適正な利潤の確保や安定経営への取組

⇒ (目標項目)

売上高経常利益率

(県内建設企業(売上高1億円以上)の売上高経常利益率の平均値)

⇒ (取組施策)

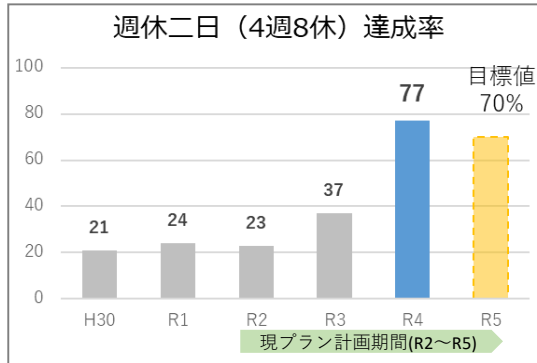
適正な予定価格の設定と適切な設計変更など

取組 1 担い手確保や労働環境改善の取組

目標項目 週休二日制工事(4週8休) 達成率【R5目標値：70%】 H30：21% ⇒ **R4：77%**

週休二日制工事については、建設業界と連携し策定したロードマップに基づき段階的に取組を拡大した結果、**週休二日の現場閉所が浸透し目標を達成**。

建設業の魅力発信については、**建設業界と連携し出前授業や現場見学会、進路指導教諭との交流会等を実施**し取組が進んだ。

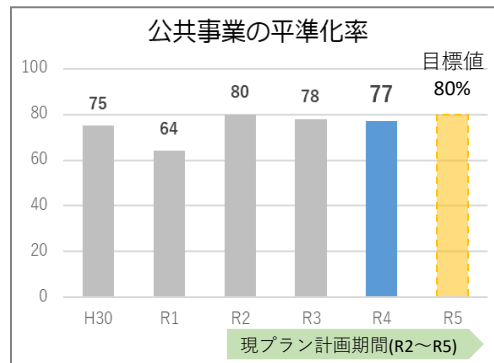
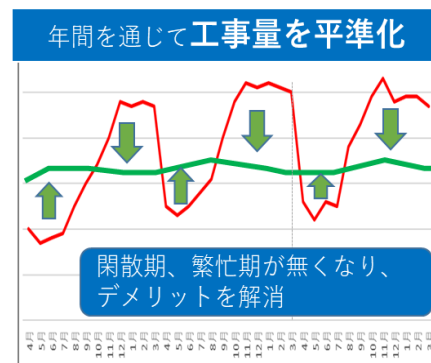


取組 2 生産性向上への取組

目標項目 公共事業の平準化率【R5目標値：80%】 H30：75% ⇒ **R4：77%**

施工時期の平準化については、債務設定の活用や平準化マネジメントツールの活用の浸透、速やかな繰越手続きなどにより**計画時点より改善**。

ICT活用工事については、**試行工事や適用工種の拡大、普及啓発により、取組が進んだ**。



ICT活用に向けたロードマップ

- ・土工(1,000m3未満)
- ・小規模土工
- ・構造物工(橋脚・橋台)

- ・擁壁工
- ・基礎工
- ・海上地盤改良工(床掘工・置換工)

土工、舗装工、法面工、舗装工(修繕工)、浚渫工(港湾)など11工種

令和3年度

令和4年度

令和5年度



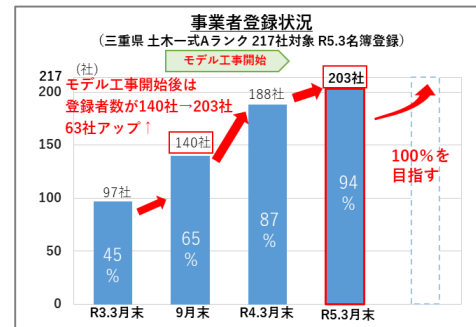
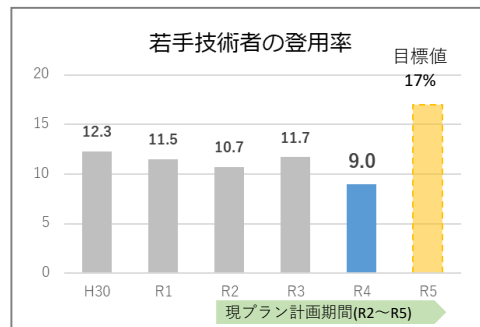
取組3 技術の承継や新技術の活用に向けた取組

目標項目 若手技術者の登用率 【R5目標値：17%】 H30：12.3% ⇒ **R4：9.0%**

若手技術者の登用については、総合評価における若手技術者の評価、工事成績点の加点等の施策を実施したが、効果が発揮されず目標達成が困難。

CCUS(建設キャリアアップシステム)については、CCUS活用モデル工事の拡大等により、元請事業者の登録が進んだ。

CCUS(建設キャリアアップシステム)とは、業界統一のルールで就業履歴や保有資格などをICカードを通じ蓄積するシステムです。



取組4 地域維持や災害対応への体制強化の取組

目標項目 地域維持型共同企業体の施工率 【R5目標値：80%】 H30：68% ⇒ **R4：72%**

将来にわたり、地域の安全・安心を確保するため、地域の建設企業による組織的な地域維持の体制づくりが必要。道路除草を地域維持共同企業体での実施としたことや、地域維持型業務委託制度の改善により、計画時点より施工率が改善した。

取組5 適正な利潤の確保や安定経営への取組

目標項目 売上高経常利益率 【R5目標値：4.4%】 H30：3.9% ⇒ **R3：5.0%** (※)

ダンピング受注の防止、受注機会の確保、労務費・資材単価の上昇を設計単価へ早期に反映したことなどにより売上高経常利益率が向上した。(※ R4値は東日本建設業保証(株)により、R5年11月に公表される見込み)

第三次三重県建設産業活性化プランの成果と課題

週休2日制工事やICT活用工事の浸透、売上高経常利益率の向上など、一定の成果が見られるものの、依然、**建設就業者数は減少傾向にあるとともに離職率が高く**、引き続き担い手の確保・育成や生産性の向上に取り組む必要がある

次期プランの策定

- 県と建設業界が連携することで、建設業が抱える課題等を解決し、地域の建設企業が時代の変化に対応しながら、将来にわたり存続し続けることを目指して、次期建設産業活性化プランを策定する。
- 計画期間は令和6年度～令和9年度とする。

取組方針（案）

地域の建設企業の存続（時代の変化に対応した経営）

【担い手の確保】

教育機関との連携の下、建設業の
魅力を発信し、担い手を確保する

【生産性の向上】

業務プロセスの仕組みの改善や、
建設DXの導入により、生産性を
向上させる

休日の確保や長時間労働の是正、
女性活躍等を推進し、労働環境の
改善を図る

【労働環境の改善】

検討会議（委員構成）

三重県建設産業活性化プラン検討会議

【検討内容（案）】

- 次期三重県建設産業活性化プランの検討

【委員構成分野】

- 学識経験者
- 教育機関及び企業経営分野の代表者
- 建設業界及び行政の代表者

担い手確保・育成 小委員会

【検討内容(案)】

- 魅力発信など、教育機関との連携取組
- 望まれる労働環境と実現に向けての取組（共通）

【委員構成分野】

- 学識経験者
- 教育機関の代表者
- 建設業界及び行政の代表者

生産性向上 小委員会

【検討内容(案)】

- 建設DX等の生産性向上の具体取組
- 望まれる労働環境と実現に向けての取組（共通）

【委員構成分野】

- 学識経験者
- 建設DX分野の代表者
- 建設業界及び行政の代表者

専門性の高い議論

検討会議 委員（案）一覧

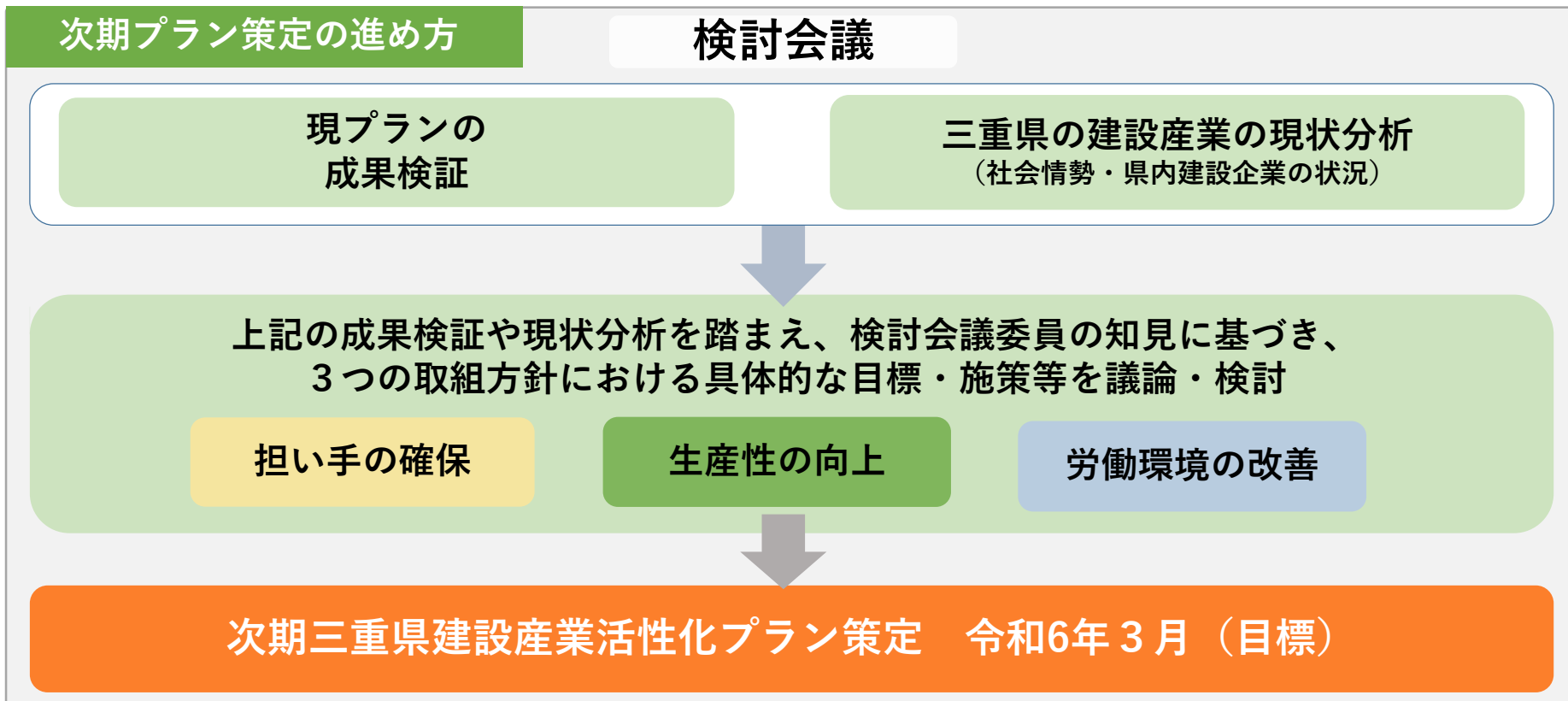
三重県建設産業活性化プラン検討会議		
役職	氏名	分野
三重大学大学院 生物資源学研究科 教授	岡島 賢治	学識経験者
成蹊大学 経済学部 名誉教授	井出 多加子	
名古屋工業大学大学院 工学研究科 教授	秀島 栄三	
東日本建設業保証株式会社 三重支店長	上田 樹雄	金融・シンク タンク
百五総合研究所 主任研究員	小林 ゆかり	
三重県立伊勢工業高等学校 校長	奥山 敦弘	教育
三重県建設業協会 労働委員会 担当副会長	橋爪 吉生	建設企業
市町（発注者協議会） 津市建設部長	渡邊 公隆	行政
三重県県土整備部 理事	佐竹 元宏	

生産性向上 小委員会		
役職	氏名	分野
名古屋工業大学大学院 工学研究科 教授	秀島 栄三	学識経験者
(一社)建設ディレクター協会 理事長	新井 恭子	建設 D X
中部i-Construction研究会 ICTアドバイザー	福嶋 成仁	
中部i-Construction研究会 ICTアドバイザー	有城 和哉	建設企業・ 建設 D X
三重県県土整備部 技術管理課長	濱瀬 賢司	行政

担い手確保・育成 小委員会		
役職	氏名	分野
成蹊大学 経済学部 名誉教授	井出 多加子	学識経験者
三重県立津工業高等学校 教諭	山脇 和吉	教育
三重県立桑名北高等学校 主幹教諭	井上 和也	
三重県立紀南高等学校 教諭	福田 美佳	
三重県建設業協会 労働委員会 委員長	伊藤 秀樹	建設企業
三重県建設業協会 女性部会 会長	松本 くみ子	
三重県県土整備部 副部長(公共事業総合政策担当)	上村 告	行政



3. 次期三重県建設産業活性化プランの検討方針



スケジュール	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月
策定の流れ	<ul style="list-style-type: none"> ・現状分析 ・現プランの成果検証 	次期プラン骨子案の検討	中間案の検討	最終案の検討	公表
検討会議		●第1回	●第2回 ●小委員会①	●第3回 ●小委員会②	
議会 (常任委員会)	●次期プラン策定方針		●骨子案	●中間案	●最終案